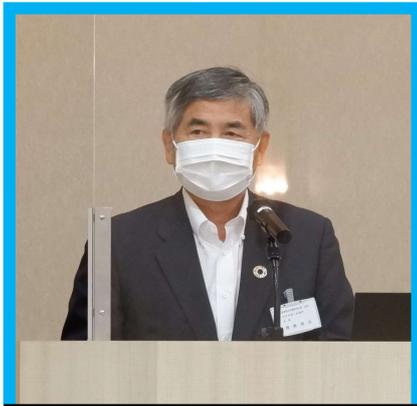


# 三重県知事講演会・懇談会を開催

令和4年6月13日(月)

「更なる成長へ ～三重の挑戦」をテーマに 三重県 知事 一見 勝之 氏が講演

三重県商工会議所連合会（会長：種橋 潤治）は、令和4年6月13日（月）ホテル津センターパレス（津市）にて、「知事講演会・懇談会」を県内商工会議所の会頭・副会頭・専務理事等出席のもと、「更なる成長へ ～三重の挑戦」をテーマに開催しました。



▲挨拶をする種橋会長

種橋会長は、一見知事に対し、コロナ禍にあって、感染防止対策と地域経済の再生等に尽力していただいていることに謝意を述べ、経済状況に関し、「5月の連休には、観光地ではかなり賑わいを取り戻してきた感があるが、ロシアのウクライナ侵攻等を背景に、原材料不足・原材料高騰、急激な円安など、先行き不透明な厳しい環境にある」とし、こうした中、「県の長期構想「強靱な美し国ビジョンみえ」について、一見県政の基での新しい三重づくりに向けた取組に、大いに期待している」、「コロナ対策はもとより、社会基盤の整備、産業界にとっても大きな課題であるカーボンニュートラルへの取組等、強いリーダーシップを発揮されている一見知事から県政推進の考え方等についてご講演をいただきたい」と挨拶した。

一見知事は、日本に迫る「静かなる脅威」では、人口減少・高齢化社会の進展、安全保障リスクの高まりが課題であり、三重県が抱える課題と強みでは、人口減少への対応、自然災害への対応が課題であり、一方、製造業（液晶パネル・電子部品など）、農林水産業（かぶせ茶・あおさ等）、



▲講演をする一見知事

▲講演会の様子

中間層の経済的豊かさ、幸福度、宿泊施設と観光資源、食材・地域ブランド、伝統工業など強みが存在する。新しい長期ビジョンと中期戦略計画、概ね10年先を見据えた長期ビジョン「強じんな美し国ビジョンみえ」、5ヶ年計画としての「みえ元気プラン」では、「人口減少への総合的な対応」、「大規模災害に対応した防災・減災、国土の強靱化対策の加速・深化」、「次世を担う子ども・若者への支援・教育の充実」、「三重

の魅力を活かした観光振興」、「脱炭素化をチャンスと捉えた産業振興」等の7つに挑戦する。今後の円卓対話等を通じて、県民の皆さんと一緒に成長していきたいと講演した。また、伊勢商工会議所 山野会頭、熊野商工会議所 榎本会頭、上野商工会議所 田山会頭、桑名商工会議所 中澤会頭から新型コロナで影響を受けた観光関係、地域の特性なども踏まえた発言があり、一見知事は丁寧に返答された。最後に、津商工会議所 伊藤会頭から、一見知事に対し、「今後とも存分にリーダーシップを発揮され、三重県の更なる発展を期待します」と御礼の挨拶をした。

その後、開催された懇談会には一見知事にも参加いただき、鈴鹿商工会議所 田中会頭の乾杯の発声で始まり、終始和やかな雰囲気の中、亀山商工会議所 岩佐会頭の中締め挨拶で終了した。



▲挨拶をする伊藤会頭